

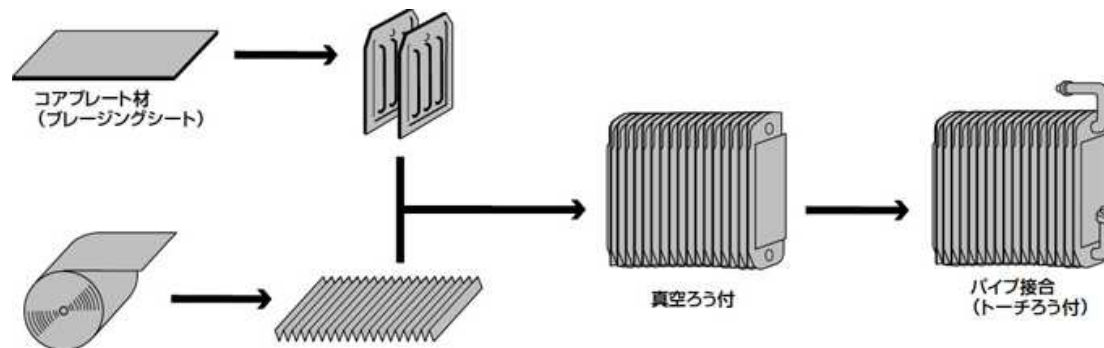
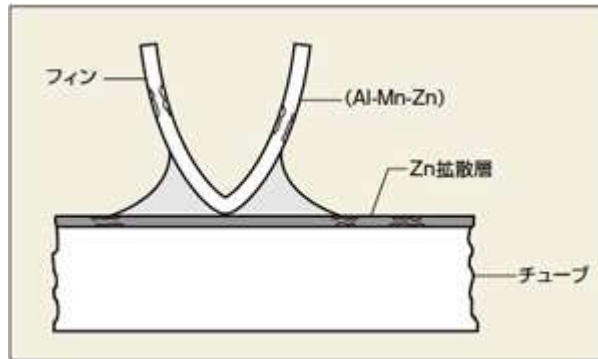
ガレージ自動車にはどんな真空が使われていますか？

カーエアコン、ラジエータ向け真空ロウ付け

解説

真空ロウ付けは、水や酸化の影響をなくすることができる、複雑な構造の接合が可能、という特徴からカーエアコン、ラジエータの製造に広く利用されています。

自動車多機能化によって発熱量が増加していますが、真空ロウ付け技術によって大型ラジエータの製造を容易にしています。



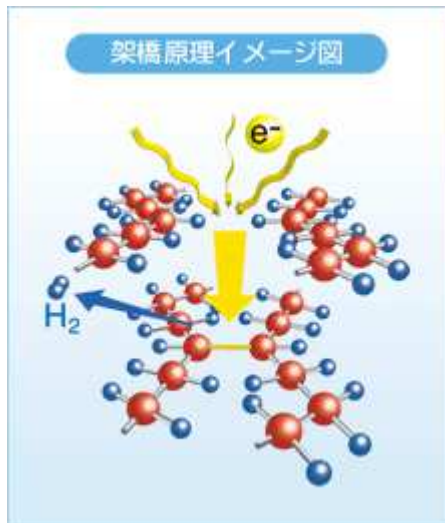
参考 アルミワールド <http://www.alumi-world.jp/index.html>

資料：身近な真真空調査小委員会

ガレージ自動車にはどんな真空が使われていますか？

解説

発泡樹脂の電子線架橋

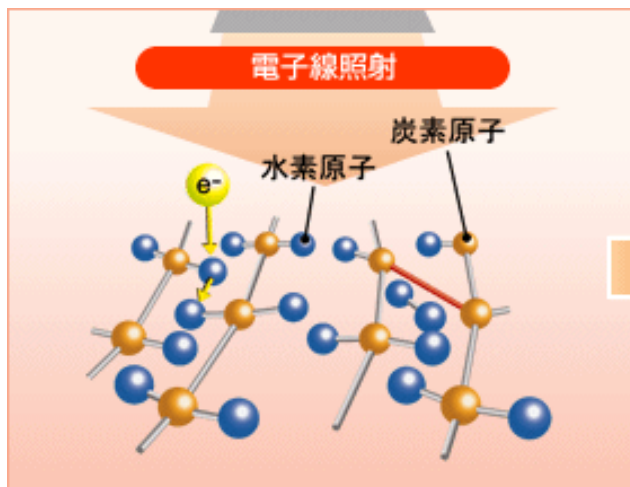


発泡樹脂の架橋に電子線を用いると、化学架橋方式と比べ以下の点が可能になる。

- ①気泡のコントロール
- ②衝撃吸収性がよい
- ③表面平滑性のよいものが得られる

上記特徴を利用して、自動車のクッション材、防音材、内装材に利用されている。

他にもCFRP材の強化、タイヤの予備架橋にも電子線が利用される場合がある。



欠点として厚材への利用は向かない点があるが、厚材への応用が可能な化学架橋方式と組み合わせることがかのである。

参考 日新電子技報 <http://nissin.jp/technical/technicalreport/pdf/2009-133/2009-133-03.pdf>
NHV HP <http://www.nhv.jp/index.html>
関西電子ビームHP <http://www.kbeam.co.jp/service/kaisitu.html>

資料：
身近な真真空調査小委員会